



2022年度年末手当の取組み



基準内賃金3.7ヶ月分を要求！

中央本部は10月14日2022年度年末手当に関する申し入れを提出しました。会社発足以降初めての赤字決算下において年間賞与は4.0ヶ月に抑えられ、定期昇給にまで手を付けられる事態を経験しました。それでも私たちは安全安定輸送と質の高いサービスの提供を実現し、第1四半期決算において3期ぶりの黒字転換を実現しました。これはJR労働者一人一人の努力の結晶です。一方で生活を取り巻く環境は悪化しています。賞与減額による貯蓄の切り崩し、物価高・原油高は生活を直撃し、将来設計を見直す人も多くいます。安心してJR東日本で定年まで働ける労働環境の整備は労働組合にしかできません。まずは一時金である年末手当で「基準内賃金の3.7ヶ月」満額回答を実現するために、東日本ユニオンにJR労働者の思いを聞かせてください！みんなの思いを結集させて年間賞与6.0ヶ月を取り戻しましょう！

■ 中央本部申5号申し入れ項目 ■

1. 2022年度年末手当は「基準内賃金の3.7ヶ月分」とすること。
2. 全社員一律による月数回答とすること。
3. 2022年度年末手当は2022年12月9日までに支払うこと。

年間賞与6.0ヶ月を取り戻そう！